

全医労青年部ニュース

全日本国立医療労働組合

2017年12月5日発行

No.24

身体を動かして

リフレッシュ！

～四国地方協青年集会在徳島～

11月17日～18日、隔年に1度開催される四国地方協青年集会在徳島が開催されました。

集会には、5支部16人が参加しました。

1日目は、スポーツレクリエーションとして、綱引きや洗濯ものバレーなどスポーツから、神経衰弱やお絵かきしりとりゲームなど誰もが参加できる企画で楽しみました。

その後、屋外でバーベキュー。日暮れとともに下がる気温とたたかいたながら、遠赤効果のバーベキューと急遽作った豚汁で冷えた身体をあたためることができ、楽しく交流しました。

2日目は、青年のしゃべり場として、「年休取得について」「超過勤務について」「自己研さんという名の拘束」について話し合いました。それぞれの職場実態を出しながら「年休取得はもうものではなく、自分から請求するもの」「超過勤務だが、実際に働いた時間を記録していかないと職場の人員は増えるこ

ともない。逆に減らされるかもしれない。超過勤務手当の不払いや労働基準法違反にもなるので、きちんと請求しよう」と話し合いました。議論の最後に全医労作成の「わたしの超勤手帳」を有効に使っていかうと意思統一しました。

秋の嵐山で陶芸体験

古都京都へ青年集合！

～近畿地方協青年集会在～

11月23日近畿地方協青年集会在開催され、6支部16名が参加しました。今回は新人さんの参加が多く、午前中は学習会、午後からは秋の嵐山散策、陶芸体験をし、交流を深めました。

午前中は、全労働の岩木さんを講師に「医療関係で働くうえで知っておきたいこと」と題して、休日と休暇の違いや休憩時間・労働時間の基礎の話、またサービスクラスや年休が取れない時どうしたらよいかなどの対処法を話していただきました。その後は、自己紹介も兼ねて、1人ずつ「看護師になろうと思っただけ」「私のストレス発散法」「患者さんに言われてうれしかったこと」などのテーマを引いてもらい、そのテーマに沿って話をしてもらいました。

昼食後、さらに移動し「夢アトリエ陶芸スクール」で陶芸体験。説明を受けながら、みんな思い思いの作品を作りました。寒い一日でしたが、楽しく交流することが出来ました。参加者からは「労働時間につい

て学ぶことができてよかった」「組合には入っていたが、実際どんなことをしているのかわかっていなかったが、わかりやすく教えてもらって、参加して良かった」「初めて陶芸体験できた。意外とむずかしかった」「なかなか出来ない体験だったから良かった」などの意見がありました。

